

様式4の2

令和5年度 学校運営協議会評価報告書2

鳥取県立日野学校

学校長 坪倉 寿樹

評価日	令和6年2月20日（火）
評価・提言	学校の所見・改善策
1 重点目標の達成状況について ○中間評価につづき、生徒・保護者アンケート結果肯定的な評価が向上しており十分に達成していると判断する。 2 目標達成のための取組結果について ○地域との連携した学びの充実が自己有用感につながっている。一方で、部活動が活発でないと生徒・職員も感じている。少人数の種目を導入するのはどうか。 3 具体目標の達成状況について ○自分が何ができるようになったか。Beingを問うことは、人としての成長を見ることができる。その中で、アンケート結果で高い評価となっており目標に達成しているといえる。 ○特定の者が、勤務時間外が多いのはなぜか。改善に向ける方策はないか。 4 目標達成のために取り組んだ具体方策について ○年下の児童・生徒との触れ合いが自己有用感を高めている。 ○「人との関わり」の肯定的な回答から、「人の役に立っていること」につながっている。また、少人数できめ細かな対応が進路指導に肯定的な意見が多かったと窺える。 ○日野学園との交流は双方に良い刺激となり、高齢者相手、児童相手、相手を考えることにつながる。 ○小規模ではあるが、鳥取大学、鳥取環境大学と関わることも重要。 5 その他 ○特になし	○次年度から、各教科でより地域資源（自然、人）を活用した授業を取り入れることで学びを充実させていく。 ○部活動については、今後検討課題である。 ○引き続き、業務の平準化、個人面談を実施する。 ○来年度は、保育所とも連携。また、日野町だけでなく、日南町、江府町と日野郡全体で各教科で交流する機会を増やす。